



地域連携室 “あざれあ” 便り 28号

いよいよ今年も残すところ1カ月となりました。日頃より地域連携室「あざれあ」の活動に対しご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。今回は、「地域在宅緩和ケア推進モデル事業」の一環として開催する2つの研修を中心にお伝えします。

(いずれも東広島保健医療センター3階大会議室にて開催します)



スウィート緩和ケア症例検討会



昨年度に引き続き、在宅緩和ケアに関わる関係者の質の向上とネットワークの推進を図ることを目的として、症例検討会を開催します。(12月11日(木) 19:00~20:40)

今回は「独居がん患者の看取り支援」をテーマに「希望だもん、叶えようよ。～独居がん患者さんの看取りの実践より～」と題してケアマネジャー、訪問介護員、緩和ケアコーディネーターのそれぞれの立場から症例報告をしていただきます。また事例で関係の深かった東広島市福祉部高齢者支援課(交渉中)と、高齢者の総合相談窓口である広島県地域包括支援センターから石口 房子様に助言者としてご出席いただきます。

現在参加希望者は約70名ですが、医師の参加が少ない状況です。在宅緩和ケアの推進に向けて、是非ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

がん患者さん・家族・支援者のついで 第7回 こころの駅舎



年3回開催している「がん患者さん、ご家族、支援者が、悩みを相談したりおしゃべりを楽しんだりする集い：こころの駅舎」も7回目を迎えます。(12月18日(木) 14:00~15:30)

今回講師としてお招きする吉国 道明様は、ご自身もがん闘病中です。「余命20か月からの出発—つながる人の縁—」と題してご講演いただきますが、自らの体験を通して人とのつながりや、一日一日を大切に生きることを私たちに伝えてくださることでしょう。皆様のご参加をお待ちしております。

お知らせ



地域サロンを通じて普及活動を進めてきたACPも、目標数の「10の生活圏域」で「200名」への普及！を突破しました。そのため、11月30日の説明会をもちまして今年度の普及活動を終了しました。最終的には320名の方にACPを勧めることができました。



普及効果を検証するために、これからアンケート調査の集計に入ります。来月は先生方にもアンケートにご協力いただきたいと思います。考えています。「医師会便り」に「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)に関するアンケート」用紙を同封しますので、どのような患者に、何人くらいACPを紹介されたか、またACPを紹介されてどのような効果があったかなどについてご回答いただきますようよろしくお願いいたします。



平成26年11/1から11/30までの相談実績 (相談件数:13)

	月日	相談元	相談内容	支援経過・結果
1	11/1	病院看護師	がん患者の退院調整について ①点滴指示書 ②特別指示書 ③ 複数の訪問看護事業所の利用	各内容について資料を提示し て説明
2	11/4	市民 (市役所→ あざれあ)	5か月の小児の目の異常について (小児科、2箇所眼科を受診し ても軽快せず相談に至る)	小児の目の病気について検索 →小児の場合、目の異常が体の 病気から起こる可能性がある ため、小児科を受診を勧める
3	11/4	包括支援セ ンター	退院調整について ①在宅医について ②介護保険サービス調整について	相談事例 自宅訪問 し情報収集 →① 在宅医の紹介 ②訪問看護、訪問リハの調整
4	11/5	居宅	肺がん患者の受診同行依頼	受診同行(本人に面談し治療に関 する意向の確認)→本人から主治 医に治療に対する意向の表出
5	11/5	居宅	訪問看護との連携について	事例の聞き取り→事例への介 入→事業所間の情報の共有
6	11/10	障害相談員	訪問リハと訪問マッサージの併用 について	資料を提示し説明
7	11/16	市民(三原)	脳性まひ、水頭症、症候性てんか ん児の支援について	情報収集のため訪問 →小児事 例に詳しい訪問看護師との連 携・紹介
8	11/16	市民	虚弱の母親の今後の生活の場につ いて	情報収集のため訪問 →傾聴→ 自宅での生活継続の意思確認
9	11/17	訪問看護	患者の医療情報収集について	関係医療機関連携室を通し、主 治医に情報提供できるよう調整
10	11/18	MSW	在宅医情報提供依頼	地域資源マップから情報提供
11	11/18	医師	退院支援について	情報確認(翌日緊急入院)
12	11/19	MSW	CVポート管理可能な 在宅支援体 制 について	CVポート管理可能な 在宅医 及び在宅ネットの紹介
13	11/20	医療事務	特別養護老人ホーム短期入所中の 往診について	診療報酬確認し情報提供

※ 日赤や医療センター等のMSWや地域包括支援センターの職員から、資源マップを通して在宅医を紹介していますとの情報を得ています。



4月から「在宅医療推進事業」「地域在宅緩和ケア推進モデル事業」「ACP普及啓発事業」の3事業を何とか計画に沿って進めることができました。ひとえに皆様のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。1月からは今年度の総括の段階に入ります。今後とも何卒ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。